

014-09541 (10 mL × 5A)

011-09551 (10 mL × 5A)

免疫化学用

フロイント, コンプリート, アジュバント フロイント, インコンプリート, アジュバント

免疫を行う場合に、抗原物質を単独でなく、ある物質を添加し混合物として注射すると、抗体の産生や遅延型過敏症のような細胞性免疫の成立がいちじるしく促進されることがあります。このように抗原と混合して免疫した場合に、宿主の抗体産生などの免疫応答を増強する効果のある物質は免疫助成剤（immunologic adjuvant）と呼ばれています。アジュバントを用いた免疫では、一般に抗原を単独で用いた場合に比べ、抗体の産生量のはるかに高くまた産生期間が持続する等の利点があるといわれております。

免疫の際、アジュバントを使用することは古く Pasteur の時代（1877）から行われているといわれ、現在まで多くの物質にアジュバント作用があることが報告されています。現在一般に広く使用されているアジュバントとしては、ミョウバンなどのタンパク質吸着剤、鉱物油を用いた油中水型のエマルジョン、および結核菌などの微生物または菌体成分を前記のエマルジョンに添加した型のものがありますが、なかでもフロイントのアジュバント（コンプリートとインコンプリート）はよく知られています。

当社ではこのたび鉱物油として流動パラフィンを用い、表面活性剤スパン80を混合したフロイント、インコンプリート、アジュバントおよびこれらにさらにヒト型結核死菌 H₃₇Rv を添加したフロイント、コンプリート、アジュバントを商品化致しました。どうぞご利用下さい。

内 容

フロイント, コンプリート, アジュバント

10mL中流動パラフィン 8.5mL, スパン 80 1.5mL
および 結核死菌 H₃₇Rv 7.5mg を含有.

フロイント, インコンプリート, アジュバント

10mL中流動パラフィン 8.5mL, スパン 80 1.5mL
を含有.

特 長

1. オートクレープで滅菌されておりますので開封と同時にそのままご使用になれます。
2. 厳密な品質管理の下に製造され、実用試験で検定された製品ですので正確で再現性のある結果が得られます。

ご使用上の注意

1. フロイント, コンプリート, アジュバントにはヒト型結核死菌 H₃₇Rv を添加しています。沈殿となりやすいので開封時には十分振り混ぜ均等に浮遊させてからご使用下さい。また毒性がありますので取扱いには十分ご注意下さい。
2. アジュバントと抗原液を混合して乳化させる作業では、混合液の温度が上昇しますと乳化し難い傾向がみられます。混合は冷却下で行うことをお勧めします。

	フロイント, コン プリート, アジュバント	フロイント, インコン プリート, アジュバント
〔貯 法〕	室温保存	室温保存
〔包 装〕	10mL×5A	10mL×5A
〔コード番号〕	014-09541	011-09551

参考文献

- (1) Pasteur, L. and Joubert, G. : Compt. rend. Acad. Sci., **85** 107 (1877).
- (2) 進藤宙二監修 : 「免疫学・アレルギー学実験法」, 5 (光文堂) (1971).
- (3) 山村雄一, 石坂公成, 北川正保, 尾上 薫 編 : 「免疫化学」, 639 (朝倉書店) (1973).
- (4) 田中 渥, 石橋凡雄 : 「免疫実験操作法 A」 45 (日本免疫学会) (1976).

製造発売元

富士フイルム 和光純薬株式会社
大阪市中央区道修町三丁目1番2号
Tel : 06-6203-3741

1802KA1